

総務文教常任委員会

委員長 久保 雅己

【一般会計】

問 固定資産税の関係で、建築数よりも建物の滅失数が上回っているにもかかわらず税収が増えているのはなぜか。

答 家屋の滅失件数は新築を上回り、課税対象件数や納税義務者も減少しているが、新築のほうが評価額は高く、滅失家屋は低いためである。

問 特定空家判定調査とは、判定の結果をどのように反映していくのか。

答 調査は特定空家かどうかの判断をするものであり、行政代執行を行うための前段の調査となる。

問 ロボット事業RPA導入事業は、どのような業務に導入するのか、方向性は決まっているのか。

答 戸籍等の交付件数の集計業務や人事異動に伴うシステム

操作権限の変更処理などの自動化を想定しており、試行的な取り組みも兼ねている。

問 大学等連携地域活性化事業とは、どういった内容か。

答 学生のフィールドワーク活動など、定期的な交流は地域の活性化にも繋がり、周防大島町が研究対象になることで、地域課題の解決や知名度の向上なども期待できる事業である。

問 小松開作地区の若者定住促進住宅の入居者募集は、町外からの応募も可能であった。

答 移住・定住の要素が強いので、政策企画課の積極的な関わりが必要ではないのか。

問 定住環境の整備に関する事業化の検討などは政策企画課の所管であるが、事業の実施については、住宅の維持・管理を効率よく運用することのできる生活衛生課で行っている。

問 留学先をカウアイ島にしたとき、募集する人数と引率者は誰になるのか。

答 また、経費はどのくらい必要になるのか。

問 募集人数は6人の予定であり、引率は引き続き山口大学にご協力をいただき、町の国際交流支援員との2名である。

答 費用は、総額で一人当たり50万円（個人負担20万円）を見込んでいます。

問 災害対策寄付金を充当する各中学校の図書購入費について、統合を控えた今、図書をどのように活用するのか。

答 校長の判断により、図書内容の充実等にも配慮していただき、統合時に重複しないよう調整を図る。

問 GIGAスクール構想に関連して、今後、タブレットをどのように活用していこうとしているのか。

答 1人1台の環境が整えば、個人の学習記録の累積やスキルの向上等も期待できる。家庭での活用等も検討したい。



総務部政策企画課の審査

問 農業者健康管理センターで、昨年、アキレス腱を断裂した事故が2回あった。

答 因果関係は不明だが、床のワックス掛けが行われていなかったと聞く。

問 ワックス塗布は定期的の実施しているが、当時は必要な状況ではなかったことから延伸していた。

答 今後は状況を確認しながら適切な実施時期を見極めたい。